

第 46 期 報 告 書

平成19年度〔平成19年4月1日から
平成20年3月31日まで〕

事 業 報 告 書
貸 借 対 照 表
正味財産増減計算書
(事業費明細書)
財 産 目 録

財団法人 明治安田厚生事業団

東京都新宿区西新宿1丁目8番3号

平成19年度業務概況

I 全般的概況

2007年度は、明治安田生命グループの社会貢献活動の一翼を担い以下の活動を展開した。

研究関連業務では、これまでどおり「社会に開かれた（社会に具体的に貢献できる）研究活動」を基本姿勢に「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」の各課題を推進した。基礎研究では、継続的な運動が心理・生理・脳機能・構造に及ぼす影響を検討するためにトレーニング実験を実施した。実践研究では、中高年勤労者を対象に、心身の健康に関する横断調査、およびメンタルヘルス維持改善のための運動プログラムの効果検証を行った。また、高齢者の睡眠改善を狙いとした運動プログラムの開発、ならびに未成年者の精神的健康と運動との関係に関する調査研究に着手した。以上の活動により、年間を通しての学会発表、論文、報告書数は46題を数えた。

研究助成は、第24回健康医科学研究助成を実施し、175件の応募の中から15件に対して助成金を贈呈した。また、第23回論文集から優秀賞1件を選定した。

ウェルネスサポート・コンサルタント業務では、「社会に貢献できる健康づくりコンサルタント活動」に努め、当事業団のオリジナルな健康度評価法として開発した「運動健診」を主に活動した。その一部の検査項目を健診センターの「メタボリックシンドローム健診」として新規に導入し、専門的・技術的サポートをおこなった。また、新規にメタボリックシンドローム健診のフォローアップとして、「健康づくり運動コース」を開発した。

総合健診業務は、当事業団独自の「メタボリックシンドローム健診」を開発し、4月から開始した。健診環境の充実を図るため、5月には、胃部レントゲン4台のデジタル化を実現、また7月には、健診スタッフのユニフォームを一新した。一方、受診者の方により気持ち良く受診いただくと同時に、健診の精度維持を図るため、「定員制・時間別受付制」を試行した。さらに、昨年引き続き、地震早期警報装置を導入し、一層の防災体制も整えた。3月には、1年かけて準備した日本人間ドック学会の「人間ドック施設機能評価」を正式に受審申請し、「健診から健康づくり」までの体制整備が大きく前進した。

Ⅱ 業務別事業概要

〔研究関連業務〕

平成19年度に実施した主要研究項目および活動は以下のとおりである。

1. コアスタディー「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」

ア. 心理・生理機能に及ぼす運動トレーニングの影響に関する研究

イ. 中高年勤労者の心身の健康増進のための運動プログラム開発に関する研究

ウ. 職業性ストレス、運動、生活習慣病リスクの相互関係に関する調査研究

エ. 運動を活用した高齢者のうつ予防および睡眠改善のための健康支援に関する研究

オ. 親子で実施する運動と家族機能との関係に関する生態学的研究

2. 研究室別研究

ア. 運動生理学研究室において実施した研究

(1) 高齢者の身体活動と睡眠に関する研究

(2) ベッドレスト後の直立姿勢時における単シナプス反射に関する研究

イ. 運動生化学研究室において実施した研究

(1) 運動と睡眠に関する研究

(2) 運動と脳の機能・構造に関する研究

ウ. 運動疫学研究室において実施した研究

(1) 中高年の身体活動量増加に関する介入研究

(2) ITを用いた健康教育に関する介入研究

3. 外部機関との共同研究

ア. (公益信託) 日本動脈硬化予防研究基金との共同研究

身体活動量評価法に関して、信頼性および妥当性について検討した。

4. 学会・研究会活動

ア. 研究発表

- ・ コアスタディー：14題
- ・ 研究室別研究：18題
- ・ 健診、フィットネス研究：7題

(1) 国内学会（合計27題）

- ・ 日本体力医学会：8題
- ・ 日本公衆衛生学会：5題
- ・ 日本健康教育学会：3題
- ・ 日本総合健診医学会：3題
- ・ 理学療法医学的基礎研究会：1題
- ・ 産業保健研究会：1題
- ・ 日本磁気共鳴医学会：1題
- ・ 日本体育学会：1題
- ・ 日本人間ドック学会：1題
- ・ 日本産業衛生学会：1題
- ・ 血管バイオメカニクス研究会：1題
- ・ 日本疫学会：1題

(2) 国際学会（合計12題）

- ・ The 39th Conference of Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health
：4題（Saitama）
- ・ The 19th IUHPE World Conference on Health Promotion & Health Education
：2題（Canada）
- ・ 12th Annual Congress of the European College of Sports Science：2題（Finland）
- ・ The 16th Annual Scientific Meeting of the AEA：2題（Tasmania）
- ・ World Physical Therapy 2007：1題（Canada）
- ・ 11th The International Association of Human-Animal Interaction Organizations
：1題（Tokyo）

イ. 論文・報告書などの出版

- ・ コアスタディー：3題
- ・ 研究室別研究：4題

5. その他の活動

ア. 研究助成論文集「健康医科学」の編集

イ. 体力医学研究所ホームページによる情報提供

〔研究助成〕

第24回健康医科学研究助成の公募を平成19年6月から10月にかけて実施した。大学および各種研究機関などから175件の応募があり、選考委員の個別審査、選考委員会での厳正な審査を経て次表の15件を選出した。

平成20年3月24日に明治安田生命本社にて後援団体、選考委員、受贈者の出席を得て助成金贈呈式を行なった。助成金額は一律100万円（総額1500万円）である。

なお、これまでの助成対象研究は437件、4億3650万円に達した。また、前年度研究助成の成果を第23回健康医科学研究助成論文集として発行した。さらに、第23回論文集の中から優秀賞1件を選定した。

第24回（平成19年度）健康医科学研究助成受贈者一覧

（五十音順・敬称略）

氏 名 (共同研究者数)	所 属	研 究 テ ー マ
青木 朋子 (2人)	熊本県立大学 環境共生学部	高齢者における指の運動機能トレーナビリティの評価
秋本 紗恵子 (1人)	東京都老人総合研究所 老年病ゲノム探索研究チーム	内臓脂肪症候群の形成に関与する社会的性差（飲酒習慣）と生物学的性差の重要度の比較検討
片山 靖富 (5人)	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	減量を目的とした有酸素性運動の実践および食事制限が肥満者の血液流動特性に及ぼす影響
牛 凱軍	東北大学 医学系研究科	老人ホーム向けの転倒骨折予防運動プログラム開発の研究 －無作為割付け比較試験－
清水 和弘 (4人)	筑波大学大学院 人間総合科学研究科	日常生活における身体活動レベルの違いが中高齢者の免疫機能に及ぼす影響
谷本 道哉 (3人)	国立健康・栄養研究所 健康増進プログラム	高齢者における筋発揮張力維持法（LST）の筋力増強、筋肥大効果および安全性の検証
俵 紀行 (4人)	国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部	運動療法のための体幹部骨格筋の評価 －高速スキャン磁気共鳴画像法（MRI）を利用した筋の活動性の画像化－
東郷 史治	労働安全衛生総合研究所 作業条件適応研究グループ	交代勤務者の身体活動と心身の健康の実態に関する研究
富岡 公子 (2人)	奈良県立医科大学 医学部	高齢者の一日歩数と身体機能および健康関連QOLに関する横断研究 －適正歩数の試み－
平本 哲哉 (2人)	九州大学大学院医学研究院 心身医学	ヨーガがメンタルヘルスおよびストレス感受性に及ぼす影響
藤田 裕規 (2人)	近畿大学 医学部公衆衛生学	高齢男性における健康な骨の維持のための身体能力・身体活動を探る
宮崎 剛 (1人)	東京都老人医療センター 老化制御/整形外科	加齢に伴う活性酸素増加が骨代謝に及ぼす影響
村木 里志 (2人)	九州大学芸術工学研究院 人間工学講座	筋の厚さ（量）と硬さ（質）から筋力を推定する方法の開発
山口 英峰 (3人)	吉備国際大学 健康スポーツ福祉学科	日内変動における心臓自律神経系活動と反射機能との関係
山根 基 (3人)	中京大学 生命システム工学部	低温および風雨による寒冷曝露時の熱放散反応に関する研究

〔ウェルネス・サポート・コンサルタント業務〕

1. 健康・体力づくり実践指導活動 総開催数289回

“健診から健康づくりまで”を実現するウェルネスサービスでは、運動健診をその主要プログラムとし、運動と食事に関する支援プログラムを展開した。

ア. 「メタボリックシンドローム健診の健康づくり運動コース」

開催数52回、参加人数 57人

イ. 「運動健診」

開催数84回、参加人数181人

内訳として ウェルネスプログラムから受診 140人 (77.3%)

健診とともに受診 30人 (16.6%)

紹介、体験 11人 (6.1%)

運動健診は平成15年から開発に着手し、平成17年秋よりウェルネスサポートプログラムに取り入れた。本年度はメタボリックシンドローム健診に関連3項目を導入し、その追加4項目のコースを新設して対応した。

ウ. 「運動習慣を身につける講座」

講座 開催数12回、参加人数33人

効果測定 開催数17回、参加人数43人

本講座は平成10年10月より開始し、10年目を迎えた。これまでの参加者の累計は1,802名となった。これまでの成果をもとに新たなプログラムへの展開をはかった。

エ. 「ヘルスアップMYレージ」

登録 登録人数69人

登録者イベント 開催数 1回、参加人数10人

ウォーキングMYレージを改め、ヘルスアップMYレージとした。本プログラムは継続型で年間登録制としている。登録者の交流を目的としてウォーキングイベントを開催した。

オ. 「MYヘルスプログラム」

開催数84回、参加人数982人

MYヘルスプログラムは、運動機器を用いた健康づくりのセルフプログラムである。年間を通しての継続実施者に対してサポートした。健康づくり運動健診コース「施設利用型」プログラムも同時開催とした。

カ. その他

・フォローアップ開催数 8回、参加人数36人

これまでに実施したプログラム参加者の自主グループに対するフォローアップサポートを実施した。

2. 健康づくりコンサルタント活動 総開催数 35回

ア. 健康日本21計画の具体的実践に関する自治体へのコンサルタント活動、企業・団体への健康・体力づくりに関する企画参画および講演・実技指導等

31件

イ. 明治安田生命支社活動への健康・体力づくりに関する支援

・「ウェルネス講演会」等

開催数 4回、参加人数163人

ウ. 健康情報誌「ウェルネス・レター」の発行

17、18号 総計34,000部

特集は 17号「＜食事バランスガイド＞を上手に使おう」

18号「＜うつ病＞を知る」

〔総合健診業務〕

平成19年度における健診概況等は次のとおりである。

1. 男女別・年齢階層別受診者数

	男		女		計	
	受診者数(人)	占率(%)	受診者数(人)	占率(%)	受診者数(人)	占率(%)
60歳以上	1,773	21.9	1,167	17.4	2,940	19.8
50～59歳	2,264	27.9	1,886	28.0	4,150	28.0
40～49歳	2,440	30.1	2,054	30.5	4,494	30.3
35～39歳	1,155	14.2	1,111	16.5	2,266	15.3
30～34歳	429	5.3	443	6.6	872	5.9
29歳以下	47	0.6	64	1.0	111	0.7
合計	8,108	100.0	6,725	100.0	14,833	100.0

- (1) 総受診者数14,833人で前年より645人増加
- (2) 男女別の占率は、男性54.7%、女性45.3%で、男女とも前年と同率であった
- (3) 生活習慣病対象年齢である35歳以上の占率は、93.4%で、前年比0.6%増であった

2. その他受診者に関する事項

- (1) 一般と団体との占率
一般が962人(6.5%)、団体が13,871人(93.5%)で、前年に引き続き団体中心の受診者構成
- (2) 反復受診率
反復受診率は77.4%で、前年より3.8%増加。男性の新規受診者が1,908人と前年度に比較し120人増加
- (3) 二次検査受診者数
二次検査は、胃部内視鏡検査122人、胸部X線検査116人、X線注腸検査33人等で、合計576人
- (4) 婦人科検査受診率
婦人科検査受診者数は5,150人で受診率は76.6%と、前年より0.2%減少
- (5) 乳房検査受診率
乳房専門医による視触診と画像診断(エコー、マンモグラフィ)により実施。受診者数は5,613人で受診率は前年の82.8%から83.5%へと増加

3. 検査結果状況

健診結果の検査対象疾患別判定の占率状況は、次表のとおりである。

なお、「精密検査が必要」と判定されたものは、男女とも食道・胃疾患が最も高率に認められ、その占率は男性が11.7%、女性が12.3%であった。

また、生活習慣病といわれる肥満、高コレステロール血症、高中性脂肪血症、肝機能障害、耐糖能障害は、男女差はあるものの「C」判定が多く、食事、運動を中心とした生活習慣の影響が示唆された。

検査対象疾患別判定占率一覧表

単位：％

疾患名	検査方法	性別	判定区分				癌など発見数
			C	D1	D2	E	
肥満(過体重)	身体測定	男女	67.8	0.0	0.0	0.0	
			55.3	0.0	0.0	0.0	
呼吸器疾患	胸部X線	男女	10.2	0.0	0.1	0.6	
			8.1	0.0	0.1	0.4	
高血圧	血圧測定	男女	8.0	0.3	0.0	4.1	
			3.2	0.1	0.0	1.4	
高コレステロール	血液生化学	男女	16.6	1.5	0.0	1.2	
			15.3	2.2	0.0	1.1	
高中性脂肪	血液生化学	男女	23.2	1.4	0.0	2.3	
			5.0	0.5	0.0	0.6	
高尿酸	血液生化学	男女	20.0	3.3	0.0	2.0	
			1.1	0.2	0.0	0.1	
心電図異常	心電図	男女	21.3	0.1	2.5	0.8	
			10.5	0.0	1.5	0.0	
腎・尿路疾患	腹部超音波 尿検査	男女	26.1	0.0	4.8	0.3	
			32.7	0.0	6.0	0.1	
食道・胃疾患	胃部X線 胃内視鏡	男女	4.8	0.0	11.7	0.1	胃癌 14
			10.5	0.0	12.3	0.0	
十二指腸疾患	胃部X線	男女	2.8	0.0	1.3	0.0	
			1.2	0.0	0.4	0.0	
胆石・胆のうポリープ	腹部超音波	男女	20.4	0.0	0.5	0.1	
			12.9	0.0	0.5	0.0	
肝機能障害(脂肪肝含)	血液生化学	男女	36.6	0.1	1.2	0.5	
			13.1	0.0	0.9	0.3	
糖尿病(耐糖能障害)	血液生化学	男女	15.5	3.7	1.4	3.9	
			9.5	1.0	0.8	1.2	
眼科	眼底・眼圧	男女	17.7	0.1	9.7	3.2	
			12.3	0.0	6.8	3.1	
肛門・大腸疾患	便潜血反応	男女	0.0	0.0	7.6	0.0	大腸癌 7
			0.7	0.0	4.4	0.0	
前立腺疾患	PSA検査	男女	0.0	0.0	3.6	0.0	前立腺癌 5
婦人科	婦人科	男女	-	-	-	-	子宮癌 4
			15.5	1.7	4.0	0.6	卵巣癌 1
乳房疾患	触診・超音波 マンモグラフィ	男女	-	-	-	-	乳癌 7
			2.9	0.0	0.4	0.0	
その他の疾患		男女	10.6	0.0	1.6	0.1	その他の癌 5
			10.7	0.0	2.9	0.9	

(注) 1. 疾患別判定占率(%)は、総受診者数に対する割合。ただし、腹部エコー検査(受診率96.6%)、PSA検査(受診率45.0%)、婦人科検査(受診率76.6%)、および乳房検査(受診率83.5%)はそれぞれの受診者数に対する割合

2. 判定区分(平成16年度より日本人間ドック学会に準拠)

C:生活習慣の改善ならびに経過観察が必要

D1:治療が必要 D2:精密検査が必要

E:継続治療

3. その他の癌は慢性骨髄性白血病、胆管癌など

Ⅲ 評議員会に関する事項

1. 平成19年6月15日（金曜日）午後5時00分、東京都港区北青山3-6-8、青山ダイヤモンドホールにおいて、平成19年度評議員会を開催。

会 議 の 目 的 事 項

- 第1号議案 理事選任決定の件
- 第2号報告 評議員委嘱の件
- 第3号報告 平成18年度事業報告および決算の件
- 第4号報告 平成19年度事業計画および予算の件
- 第5号報告 「メタボリックシンドローム健診と運動コース」報告の件
- 第6号報告 「運動とメンタルヘルス」研究進捗報告の件
- 第7号報告 「中高年における運動習慣継続支援システム開発に関する研究」報告の件

総評議員数および出席議員数

- (1) 総評議員数 11人
- (2) 出席評議員数 11人（うち委任状によるもの1人）

議 事

1. 寄付行為第31条の規定に従って、評議員互選により柴田評議員を議長に選任し、寄付行為第32条の規定に従い、評議員仲村英一氏および評議員浅見高明氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾した。
2. 議長は、第1号議案「理事選任決定の件」を上議し、以下の審議を求めたところ全員異議なくこれを承認可決した。
 - ・任期満了者と再任
 - <理事> 葉狩浩一氏、香川芳子氏、芝山秀太郎氏
 - 報告事項
 - <理事> 名取禮二氏 平成18年11月20日死亡
3. 議長は、第2号報告「評議員委嘱の件」を上議し、平成19年度の評議員の名簿を配付して理事会で議決される評議員のその異動の内容を報告した。
4. 議長は、第3号報告「平成18年度事業報告および決算の件」を上議し、当事業団の業績は、順調に伸展して所期の成果をあげた旨報告し、併せて、各部門別に主要業績を列挙して報告した。

また、決算についても、議長は、正味財産増減計算書等決算関係諸表を配付し主要事項につき報告を行った。
5. 議長は、第4号報告「平成19年度事業計画および予算報告の件」を上議し、平成19年度の事業計画および予算の概要について報告した。
6. 議長は、第5号報告「メタボリックシンドローム健診と運動コース」の件の説明につき担当の貴島理事、朽木ウェルネス開発室長を指名し説明を求めた。

7. 議長は、第6号報告「運動とメンタルヘルス」研究進捗報告の件につき、担当の永松体力医学研究所所長を指名し説明を求めた。
8. 最後に議長は、第7号報告「中高年における運動習慣継続支援システム開発に関する研究」報告の件につき、江川体力医学研究所研究員を指名し説明を求めた。
以上をもって議事を終了したので、午後5時30分、議長は閉会を宣した。

IV 理事会に関する事項

1. 平成19年6月15日（金曜日）午後5時30分、東京都港区北青山3-6-8、青山ダイヤモンドホールにおいて、平成19年度理事会を開催。

会 議 の 目 的 事 項

- 第1号報告 理事選任の件
- 第2号議案 評議員委嘱決定の件
- 第3号議案 平成18年度事業報告および決算承認の件
- 第4号議案 平成19年度事業計画および予算承認の件
- 第5号報告 「メタボリックシンドローム健診と運動コース」報告の件
- 第6号報告 「運動とメンタルヘルス」研究進捗報告の件
- 第7号報告 「中高年における運動習慣継続支援システム開発に関する研究」報告の件

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 12人
- (2) 出席理事数 12人（うち委任状によるもの1人）

議 事

1. 開会に先立ち、事務局より、現在の総理事数12人のうち、本日の出席理事数は12人であり、寄付行為第22条並びに第24条の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨、議場に報告した。
2. 理事長葉狩浩一氏は、寄付行為第21条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣した後、寄付行為第26条の規定に従って、常務理事山田百郎氏および理事西山千秋氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾した。
3. 議長は、第1号報告「理事選任の件」を上議し、評議員会で議決された異動の内容を次のとおり説明した。
 - ア. 任期満了者と再任
 - <理事> 葉狩浩一氏、香川芳子氏、芝山秀太郎氏
 - イ. <理事> 名取禮二氏 平成18年11月20日死亡
4. 議長は、第2号議案「評議員委嘱決定の件」を上議し、以下の審議をもとめたところ全員異議なくこれを承認可決した。
 - 任期満了者と再任
 - 波多健治郎氏、大島雄次氏
5. 議長は、第3号議案「平成18年度事業報告および決算承認の件」を上議し、まず平成18年度事業報告につき、各部門別に主要業績を列挙して報告するとともに、事業団全体を通じ、順調に進展して所期の成果をあげることが出来た旨の説明を行った。質疑応答を行い原案どおり承認された。
 - 次に、平成18年度決算に関し、議長は、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録および事業費明細書等の各案を理事に配付し、主要事項につき説明を行った。

引きつづき監事椎名忠氏は、これらの諸表を厳正に監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めた旨、議場に報告した。

議長は各理事に審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決された。

- 議長は、第4号議案「平成19年度事業計画および予算決定の件」を上議し、平成19年度の事業計画の概要について報告を行った。質疑応答の後、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決された。

次に、平成19年度予算に関し、議長は、新年度開始以前に理事会を開催することができなかったため、本年度4月以降経常収支のみの暫定予算を実施し、前年度予算に準じて収入・支出した旨を述べて了承を求め、次いで予算案を配付して、収入、支出の部および収支差額等主要事項を中心に説明を行い、審議を求めたところ、全員異議なく承認された。

- 議長は、第5号報告「メタボリックシンドローム健診と運動コース」の件の説明につき担当の貴島理事、朽木ウェルネス開発室長を指名し説明を求めた。
- 議長は、第6号報告「運動とメンタルヘルス」研究進捗報告の件につき、担当の永松体力医学研究所所長を指名し説明を求めた。
- 最後に議長は、第7号報告「中高年における運動習慣継続支援システム開発に関する研究」報告の件につき、江川体力医学研究所研究員を指名し説明を求めた。

以上をもって議事を終了したので、午後6時、議長は閉会を宣した。

V 出版に関する事項

平成18年度刊行物一覧

刊行物名	号数(タイトル)	刊行月	部数
WELLNESS LETTER	No.17	平成19年10月	17,000部
	No.18	平成20年3月	17,000部
健康医科学	第22回健康医科学 研究助成論文集	平成20年3月	1,300部

VI 寄付に関する事項

平成18年度は、明治安田生命保険相互会社から下記のように寄付をいただいた。

(受領年月日順に掲載)

受領年月日	寄付者	金額
		(円)
平成19年5月17日	明治安田生命保険相互会社	100,000,000
平成19年9月7日	明治安田生命保険相互会社	100,000,000
平成20年1月18日	明治安田生命保険相互会社	86,000,000

I 貸借対照表

II 正味財産増減計算書
(事業費明細書)

III 財産目録

I 貸借対照表総括表

平成20年3月31日現在

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	157,099,490	155,156,870	1,942,620
前払金	11,310,261	4,026,327	7,283,934
未収金	47,735,434	264,920	47,470,514
貯蔵品	6,712,174	0	6,712,174
流動資産合計	222,857,359	159,448,117	63,409,242
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	70,000,000	70,000,000	0
定期預金基本	180,000,000	180,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	74,985,245	51,985,245	23,000,000
機器購入積立預金	77,815,417	46,975,029	30,840,388
特定資産合計	152,800,662	98,960,274	53,840,388
その他の固定資産			
建物附属設備	8,951,252	6,735,199	2,216,053
器具備品	162,365,927	19,772,744	142,593,183
電話加入権	863,700	863,700	0
元入金	0	63,000,000	△ 63,000,000
その他の資産合計	172,180,879	90,371,643	81,809,236
無形固定資産			
ソフトウェア	16,797,100	16,411,216	385,884
無形固定資産合計	16,797,100	16,411,216	385,884
固定資産合計	591,778,641	455,743,133	136,035,508
資産合計	814,636,000	615,191,250	199,444,750
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	4,485,863	4,472,444	13,419
未払金	47,137,955	1,864,024	45,273,931
流動負債合計	51,623,818	6,336,468	45,287,350
2. 固定負債			
退職給付引当金	53,191,677	25,392,941	27,798,736
固定負債合計	53,191,677	25,392,941	27,798,736
負債合計	104,815,495	31,729,409	73,086,086
III 正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	709,820,505	583,461,841	126,358,664
(うち基本財産への充当額)	(250,000,000)	(250,000,000)	(0)
正味財産合計	709,820,505	583,461,841	126,358,664
負債・正味財産	814,636,000	615,191,250	199,444,750

貸借対照表(一般事業)

平成20年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	155,156,870	140,620,697	14,536,173
前払金	4,026,327	2,526,959	1,499,368
未収金	264,920	0	264,920
流動資産合計	159,448,117	143,147,656	16,300,461
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	70,000,000	70,000,000	0
定期預金基本	180,000,000	180,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	51,985,245	51,985,245	0
機器購入積立預金	46,975,029	46,975,029	0
特定資産合計	98,960,274	98,960,274	0
その他の固定資産			
建物附属設備	6,735,199	0	6,735,199
器具備品	19,772,744	24,260,254	△ 4,487,510
電話加入権	863,700	863,700	0
元入金	63,000,000	63,000,000	0
その他の資産合計	90,371,643	88,123,954	2,247,689
無形固定資産			
ソフトウェア	16,411,216	33,371,705	△ 16,960,489
無形固定資産合計	16,411,216	33,371,705	△ 16,960,489
固定資産合計	455,743,133	470,455,933	△ 14,712,800
資産合計	615,191,250	613,603,589	1,587,661
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	4,472,444	3,837,166	635,278
未払金	1,864,024	5,542,609	△ 3,678,585
流動負債合計	6,336,468	9,379,775	△ 3,043,307
2. 固定負債			
退職給付引当金	25,392,941	22,615,561	2,777,380
固定負債合計	25,392,941	22,615,561	2,777,380
負債合計	31,729,409	31,995,336	△ 265,927
III 正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	583,461,841	581,608,253	1,853,588
(うち基本財産への充当額)	(250,000,000)	(250,000,000)	(0)
正味財産合計	583,461,841	581,608,253	1,853,588
負債・正味財産	615,191,250	613,603,589	1,587,661

貸借対照表(特別事業)

平成20年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,942,620	39,352,038	△ 37,409,418
前払金	7,283,934	7,283,934	0
未収金	47,470,514	41,526,586	5,943,928
貯蔵品	6,712,174	8,515,339	△ 1,803,165
流動資産合計	63,409,242	96,677,897	△ 33,268,655
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当預金	23,000,000	23,000,000	0
機器購入積立預金	30,840,388	5,840,388	25,000,000
特定資産合計	53,840,388	28,840,388	25,000,000
その他の固定資産			
建物附属設備	2,216,053	0	2,216,053
器具備品	142,593,183	169,327,674	△ 26,734,491
元入金	△ 63,000,000	△ 63,000,000	0
その他の資産合計	81,809,236	106,327,674	△ 24,518,438
無形固定資産			
ソフトウェア	385,884	225,100	160,784
無形固定資産合計	385,884	225,100	160,784
固定資産合計	136,035,508	135,393,162	642,346
資産合計	199,444,750	232,071,059	△ 32,626,309
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	13,419	0	13,419
未払金	45,273,931	105,839,479	△ 60,565,548
流動負債合計	45,287,350	105,839,479	△ 60,552,129
2. 固定負債			
退職給付引当金	27,798,736	25,866,621	1,932,115
固定負債合計	27,798,736	25,866,621	1,932,115
負債合計	73,086,086	131,706,100	△ 58,620,014
III 正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	126,358,664	100,364,959	25,993,705
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	126,358,664	100,364,959	25,993,705
負債・正味財産	199,444,750	232,071,059	△ 32,626,309

Ⅱ 正味財産増減計算書総括表

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	825,215	825,215	0
運用財産運用収入	579,805	442,858	136,947
寄付金収入	286,000,000	286,000,000	0
ウェルネス事業収入	2,863,815	2,863,815	0
健診事業収入	643,165,479	0	643,165,479
雑収入	496,136	456,422	39,714
経常収益計	933,930,450	290,588,310	643,342,140
(2) 経常費用			
事業費			
体力研究事業費	105,953,275	105,953,275	0
研究助成事業費	32,282,323	32,282,323	0
ウェルネス事業費	49,957,503	49,957,503	0
管理費	100,357,145	100,357,145	0
健診事業費	616,515,428	0	616,515,428
経常費用計	905,065,674	288,550,246	616,515,428
当期経常増減額	28,864,776	2,038,064	26,826,712
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1,017,483	184,476	833,007
経常外費用計	1,017,483	184,476	833,007
当期経常外増減額	△ 1,017,483	△ 184,476	△ 833,007
当期一般正味財産増減	27,847,293	1,853,588	25,993,705
一般正味財産期首残高	681,973,212	581,608,253	100,364,959
一般正味財産期末残高	709,820,505	583,461,841	126,358,664
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	709,820,505	583,461,841	126,358,664

正味財産増減計算書(一般事業)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	825,215	511,681	313,534
運用財産運用収入	442,858	164,203	278,655
寄付金収入	286,000,000	286,000,000	0
ウェルネス事業収入	2,863,815	4,052,200	△ 1,188,385
雑収入	456,422	443,505	12,917
経常収益計	290,588,310	291,171,589	△ 583,279
(2) 経常費用			
事業費			
体力研究事業費	105,953,275	105,683,000	270,275
研究助成事業費	32,282,323	32,353,751	△ 71,428
ウェルネス事業費	49,957,503	47,456,715	2,500,788
事業費計	188,193,101	185,493,466	2,699,635
管理費			
管理費	100,357,145	110,956,549	△ 10,599,404
管理費計	100,357,145	110,956,549	△ 10,599,404
経常費用計	288,550,246	296,450,015	△ 7,899,769
当期経常増減額	2,038,064	△ 5,278,426	7,316,490
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	184,476	316,556	△ 132,080
経常外費用計	184,476	316,556	△ 132,080
当期経常外増減額	△ 184,476	△ 316,556	132,080
当期一般正味財産増減	1,853,588	△ 5,594,982	7,448,570
一般正味財産期首残高	581,608,253	587,203,235	△ 5,594,982
一般正味財産期末残高	583,461,841	581,608,253	1,853,588
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	583,461,841	581,608,253	1,853,588

事業費及び管理費明細書(一般事業)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 体力研究事業費	105,953,275	Ⅲ ウェルネス事業費	49,957,503
1. 人 件 費	62,089,598	1. 人 件 費	26,691,958
役 職 員 給 料	52,710,665	役 職 員 給 料	22,821,933
法 定 福 利 費	7,299,334	法 定 福 利 費	3,145,025
法 定 外 福 利 費	2,079,599	法 定 外 福 利 費	725,000
2. 研 究 費	43,863,677	2. 事 業 費	23,265,545
旅 費 交 通 費	2,017,587	ウエルネスレター	3,766,061
通 信 費	978,824	賃 借 料	8,478,048
備 品 消 耗 品 費	1,461,225	不 動 産 管 理 費	5,015,760
材 料 費	48,754	通 信 印 刷 費	605,013
医 薬 品 費	435,095	備 品 消 耗 品 費	488,737
図 書 購 入 費	3,282,364	フ イ ッ ト ネ ス 費	1,462,844
印 刷 費	1,310,644	減 価 償 却 費	1,920,753
機 器 保 守 契 約 費	1,464,681	そ の 他 費 用	1,528,329
光 熱 水 費	2,086,333	事 業 費 合 計	188,193,101
賃 借 料	15,707,670	Ⅳ 管 理 費	100,357,145
不 動 産 管 理 費	4,634,624	1. 人 件 費	34,405,861
研 究 調 査 費	835,551	役 職 員 給 料	23,126,455
研 究 諸 費	2,853,307	法 定 福 利 費	3,217,071
リ ー ス 料	4,887,900	法 定 外 福 利 費	1,776,398
減 価 償 却 費	490,018	派 遣 経 費	3,508,557
そ の 他 費 用	1,369,100	退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	2,777,380
Ⅱ 研究助成事業費	32,282,323	2. 事 務 費	65,951,284
1. 助 成 金	15,000,000	会 議 費	1,673,389
研 究 助 成 金	15,000,000	賃 借 料	9,617,624
2. 事 務 費	5,282,323	不 動 産 管 理 費	5,851,716
論 文 集 刊 行 費	1,900,800	リ ー ス 料	2,006,880
事 務 費	3,331,523	光 熱 水 費	377,812
学 会 等 賛 助 金	50,000	通 信 印 刷 費	2,272,689
3. 寄 付 金	12,000,000	調 査 ・ 諸 謝 金	2,263,282
指 定 寄 付 金	12,000,000	備 品 消 耗 品 費	3,438,686
		シ ス テ ム 関 係 費	7,096,491
		減 価 償 却 費	19,010,029
		租 税 公 課	6,022,513
		そ の 他 費 用	6,320,173
		事 業 費 及 び 管 理 費 合 計	288,550,246

正味財産増減計算書(特別事業)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
運用財産運用収入	136,947	39,676	97,271
健診事業収入	643,165,479	605,505,730	37,659,749
雑収入	39,714	0	39,714
経常収益計	643,342,140	605,545,406	37,796,734
(2) 経常費用			
事業費			
健診事業費	616,515,428	593,420,023	23,095,405
事業費計	616,515,428	593,420,023	23,095,405
経常費用計	616,515,428	593,420,023	23,095,405
当期経常増減額	26,826,712	12,125,383	14,701,329
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	833,007	753,542	79,465
経常外費用計	833,007	753,542	79,465
当期経常外増減額	△ 833,007	△ 753,542	△ 79,465
当期一般正味財産増減	25,993,705	11,371,841	14,621,864
一般正味財産期首残高	100,364,959	88,993,118	11,371,841
一般正味財産期末残高	126,358,664	100,364,959	25,993,705
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	126,358,664	100,364,959	25,993,705

事業費明細書(特別事業)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
健 診 事 業 費	616,515,428
1. 人 件 費	326,086,468
役 職 員 給 料	282,577,911
法 定 福 利 費	22,852,669
法 定 外 福 利 費	7,829,587
派 遣 経 費	10,894,186
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	1,932,115
2. 健 診 費	290,428,960
医 薬 品 費	47,773,407
材 料 費	18,355,041
備 品 消 耗 品 費	7,242,894
修 繕 費	9,979,973
機 器 保 守 契 約 費	5,184,548
印 刷 費	7,391,695
通 信 費	13,836,265
旅 費 交 通 費	276,813
業 務 開 拓 費	14,532,422
研 究 助 成 費	6,197,675
リ ー ス 料	4,747,788
賃 借 料	53,178,504
不 動 産 管 理 費	30,930,457
光 熱 水 費	6,575,067
嘱 託 医 関 係 費	794,615
シ ス テ ム 関 係 費	15,048,344
減 価 償 却 費	26,003,239
租 税 公 課	16,595,900
そ の 他 費 用	5,784,313
特 別 事 業 費 合 計	616,515,428

計 算 書 類 に 関 す る 注 記

1. この計算書類は「新公益法人会計基準」によって作成されております。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は平成19年4月1日より定率法から定額法に変更しております。

この変更は、医療器具の使用状況に鑑み、より実態に適合させるために行ったものです。

この結果、前事業年度と同一の基準を採用した場合と比較して、減価償却費は35,128千円減少し、経常増減額及び当期一般正味財産増減額は同額増加しております。

(2) 退職給付引当金の計上基準

自己都合による期末要支給額に基づいて計上しております。

(3) 消費税等会計処理について

税抜き処理によっております。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	70,000,000	0	0	70,000,000
定期預金	180,000,000	0	0	180,000,000
小 計	250,000,000	0	0	250,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	74,985,245	0	0	74,985,245
機器購入積立預金	52,815,417	25,000,000	0	77,815,417
小 計	127,800,662	25,000,000	0	152,800,662
合 計	377,800,662	25,000,000	0	402,800,662

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建物附属設備	16,708,784	7,757,532	8,951,252
器具備品	349,545,106	187,179,179	162,365,927
小 計	366,253,890	194,936,711	171,317,179
ソフトウェア	86,235,115		16,797,100
合 計	452,489,005	194,936,711	188,114,279

Ⅲ 財 産 目 録

平成20年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
I 資 産 の 部		
1. 流 動 資 産		
現金預金	1,815,784	
現 金		
普 通 預 金	155,283,706	
未 収 金		
業 務 委 託 料	264,920	
健 診 料	47,470,514	
前 払 金	11,310,261	
貯 蔵 品		
材 料 品	1,693,686	
医 薬 品	5,018,488	
流 動 資 産 合 計		222,857,359
2. 固 定 資 産		
(1) 基 本 財 産		
普 通 預 金	70,000,000	
定 期 預 金	180,000,000	
基 本 財 産 合 計	250,000,000	
(2) その他の固定資産		
建 物 附 属 設 備	8,951,252	
器 具 備 品	162,365,927	
電 話 加 入 権	863,700	
退 職 給 付 引 当 預 金	74,985,245	
機 器 購 入 積 立 預 金	77,815,417	
その他の固定資産合計	324,981,541	
(3) 無形固定資産		
ソ フ ト ウ ェ ア	16,797,100	
無形固定資産合計	16,797,100	
固 定 資 産 合 計		591,778,641
資 産 合 計		814,636,000
Ⅱ 負 債 の 部		
1. 流 動 負 債		
未払金(健診事業費等)	47,137,955	
預り金(所得税住民税等)	4,485,863	
流 動 負 債 合 計		51,623,818
2. 固 定 負 債		
退 職 給 付 引 当 金	53,191,677	
固 定 負 債 合 計		53,191,677
負 債 合 計		104,815,495
正 味 財 産		709,820,505

以上のとおり相違ありません。

平成20年6月9日

財団法人 明治安田厚生事業団

理事長	葉狩浩一	理事	蔵本博行
常務理事	山田百郎	理事	宮坂信之
理事	黒田善雄	理事	加賀谷淳子
理事	香川芳子	理事	馬詰良樹
理事	芝山秀太郎	理事	貴島政邑
理事	佐藤安弘	理事	西山千秋

以上調査の結果、法令および寄付行為にもとづき正確であることを認めます。

平成20年6月9日

監事	新海一郎
監事	椎名忠

独立監査人の監査報告書

平成20年4月29日

財団法人 明治安田厚生事業団

理事長 葉 狩 浩 一 殿

川上公認会計士事務所

公認会計士

川上 恭 江 

白子公認会計士事務所

公認会計士

白子 和 幸 

私たちは、財団法人明治安田厚生事業団の平成19年4月1日から平成20年3月31日までの第46期事業年度の下記の財務諸表及び収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

記

I 財務諸表

1. 一般事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
2. 特別事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
3. 貸借対照表総括表
4. 正味財産増減計算書総括表
5. 財産目録

II 収支計算書

1. 一般事業会計の収支計算書
2. 特別事業会計の収支計算書
3. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私たちの責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私たちは、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私たちの意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人明治安田厚生事業団の第46期事業年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人明治安田厚生事業団の第46期事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

財団法人明治安田厚生事業団と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

役員名簿

(平成20年6月9日現在)

理事長	葉狩浩一	
常務理事	山田百郎	
理事	黒田善雄	東京大学名誉教授
理事	香川芳子	女子栄養大学学長
理事	芝山秀太郎	鹿屋体育大学学長
理事	佐藤安弘	キリンホールディングス株式会社名誉相談役
理事	蔵本博行	北里大学名誉教授
理事	宮坂信之	東京医科歯科大学教授
理事	加賀谷淳子	日本女子体育大学名誉教授
理事	馬詰良樹	東京慈恵会医科大学教授
理事	貴島政邑	明治安田厚生事業団新宿健診センター所長
理事	西山千秋	
監事	新海一郎	前明治安田生命保険相互会社関連事業部長
監事	椎名忠	前明治安田生命保険相互会社監査委員会事務局長

評 議 員 名 簿

(平成20年6月9日現在)

仲 村 英 一	結核予防会理事長
浅 見 高 明	筑波大学名誉教授
柴 田 博	桜美林大学教授
菅 原 弘 子	地域ケア政策ネットワーク事務局長
波 多 健治郎	明治安田生命保険相互会社特別顧問
大 島 雄 次	明治安田生命保険相互会社特別顧問
下 門 顯太郎	東京医科歯科大学教授
上 坊 敏 子	社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター、センター長
江 橋 博	東亜大学大学院教授
内 田 賢	東京慈恵会医科大学教授
三 好 裕 司	明治安田生命健康保険組合東京診療所長

平成20年度役員名簿

理事長	葉狩浩一	
常務理事	山田百郎	
理事	黒田善雄	東京大学名誉教授
理事	香川芳子	女子栄養大学学長
理事	芝山秀太郎	鹿屋体育大学学長
理事	佐藤安弘	キリンホールディングス株式会社名誉相談役
理事	蔵本博行	北里大学名誉教授
理事	宮坂信之	東京医科歯科大学教授
理事	加賀谷淳子	日本女子体育大学名誉教授
理事	馬詰良樹	東京慈恵会医科大学教授
理事	貴島政邑	明治安田厚生事業団新宿健診センター所長
理事	西山千秋	
監事	内海郁夫	明治安田生命保険相互会社関連事業部長
監事	西嶋素行	明治安田生命保険相互会社監査委員会事務局審議役

平成20年度評議員名簿

仲村英一	結核予防会理事長
浅見高明	筑波大学名誉教授
柴田博	桜美林大学教授
菅原弘子	地域ケア政策ネットワーク事務局長
波多健治郎	明治安田生命保険相互会社特別顧問
大島雄次	明治安田生命保険相互会社特別顧問
下門顯太郎	東京医科歯科大学教授
上坊敏子	社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター、センター長
江橋博	東亜大学大学院教授
内田賢	東京慈恵会医科大学教授
三好裕司	明治安田生命健康保険組合東京診療所長